

【第3報】2020年度 学術委員会 秋のセミナーのご案内

(一社) 滋賀県病院薬剤師会
会長 寺田 智祐
学術部委員長 石合 徹也

認定単位項目が変更になりました。

謹啓

学術委員会主催の秋のセミナー（オンライン形式）に多くの参加申し込みありがとうございます。最終的に下記のように開催の運びとなりましたのでご案内申し上げます。

（また、事前参加申込締切日を延長しますので、奮ってのご参加をお待ちしております。）

謹 白

日時：2020年10月17日（土） 12:30～16:30 [11:30から視聴画面にアクセス可]

形式：オンライン研修会（Zoomウェビナーによる配信）



* 事前参加申込締切：10/15（木）まで

滋賀県病院薬剤師会会員のみ

12:30～12:35 開会 の 辞

12:35～12:55 情報提供 中外製薬株式会社

12:55～13:40 講演 ①

申請項目 Ⅲ-2 0.5単位

『高齢者施設におけるポリファーマシーへの取り組み
～ 介護老人保健施設で薬剤師奮闘中～』

社会医療法人 誠光会

介護老人保健施設 草津ケアセンター 副センター長 岩崎 秀子 先生

13:40～14:25 講演 ②

申請項目 Ⅲ-2 II-6 0.5単位

『患者家族と歩む処方適正化への道
～ 解決の鍵は心の安定～』

サカイ薬局 酒井 孝征 先生

14:25～15:10 講演 ③

申請項目 Ⅲ-2 0.5単位

『当院の取組みとポリファーマシー
～ 総合内科医の立場から～』

近江八幡市立総合医療センター 総合内科 徳田 嘉仁 先生

15:10～15:55 講演 ④

申請項目 V-3 0.5単位

『ポリファーマシー整理法
～ 腎臓内科の患者さんって薬多くないですか？～』

近江八幡市立総合医療センター 腎臓内科 副部長 原 将之 先生

15:55～16:25 総合討 論 （日常業務の悩みを相談してみましよう！）

16:25～16:30 閉会 の 辞

『高齢者施設におけるポリファーマシーへの取り組み

～ 介護老人保健施設で薬剤師奮闘中～』

介護老人保健施設 草津ケアセンター 副センター長 岩崎 秀子 先生

介護老人保健施設（老健）は、フレイル傾向のある方々に対して、医師も含め多職種で生活リハビリを行い在宅生活への復帰を支援する施設です。入所期間が1か月以上と長い為、じっくり生活習慣改善に向けた取り組みが行いやすく、薬剤についても一元管理ができ、減薬や中止による毎日の状態変化や観察が可能です。

老健は薬剤師の配置基準が決められており、演者は医師や多職種と共働する機会を得ました。ポリファーマシーに関して、多職種の目線で観察しようという施設の方針に則り、「元気になって不要な薬剤を服用していないか？」「服用しているがために体調の不調をきたしていないか？」「追加薬剤投与は必要か？」等の介入を行っています。今回、老健での薬剤師の取り組みを症例を交えてご紹介いたします。

『患者家族と歩む処方適正化への道 ～解決の鍵は心の安定～』

サカイ薬局 酒井 孝征 先生

処方された薬剤が適正かどうかを確認、判断することは薬剤師の使命であります。処方された経緯を把握することで適正かどうかの判断材料にできると考えます。また、患者の気持ちを汲み取ることで薬に頼りたくなる思いを解消できる可能性があります。処方数の多い少ないに関わらず、取り組み方は同じと考えています。病院で学んだ経験を、地域のかかりつけ薬局で生かそうとしています。その日々の中で、経験した症例の報告をさせていただきます。

『当院の取り組みとポリファーマシー ～総合内科医の立場から～』

近江八幡市立総合医療センター 総合内科 徳田 嘉仁 先生

2016年に(旧)薬剤総合調整加算が開始された事をうけ、2017年より院内薬剤師主導でポリファーマシー対策への取り組みが開始されていた。しかし、ポリファーマシー解決の増加にはなかなか繋がらない状況が続いており対策を進めていた薬剤師にも不安全感が募っていた。そこで、2019年より医師を加えたチーム編成とし"ポリファーマシーカンファレンス"を"定期的に"開催した。チームを編成し定期的にカンファレンスを行うようになった後より、減薬提案の採択率・介入前後の服薬薬剤数に一定の効果があり、さらに薬剤師のモチベーションアップにも寄与した。

2020年には(新)薬剤総合調整加算が開始され、急性期病院内で多職種を交えたポリファーマシー対策を実施することに追い風がふいている。そのような背景のなかで、如何にカンファレンスを行い、またどういった効果が期待できるか、症例の提示も含めご紹介したい。

『ポリファーマシー整理法 ～腎臓内科の患者さんって薬多くないですか？～』

近江八幡市立総合医療センター 腎臓内科 副部長 原 将之 先生

「腎臓内科に通院している患者さんって内服薬が多くないですか？」腎臓内科をしていると、このようなご意見をいただくことはよくあります。慢性腎不全患者では腎機能低下による様々な不具合に対しそれを補助するため、腎不全進行悪化のため、そして合併症の治療のため多くの内服薬が必要となることが多いです。

今回、我々腎臓内科医が薬を処方する時にどのような思考をたどるのかを紹介しようと思います。また、腎不全患者に対する処方におけるTipsもご紹介します。

腎臓の働きを理解し、薬一つ一つの意味合いを考えることでその薬が本当に必要なのか、そうでないのかを判断することの手助けになれば幸いです。

留 意 事 項

【オンライン研修会聴講時の注意点】

- * 事前登録時に、メールアドレス、氏名、施設名の入力間違いがあった場合は、返信メールが届かず、聴講できないことがあるため、ご注意ください。
- * 各自、事前に聴講端末を確認し、メール受信設定、通信環境の動作確認をお願いします。
- * オンライン研修会に入室する際は、氏名と所属施設名を正確に入力してください。（認定単位の申請ができません。）

【日本病院薬剤認定薬剤師制度の認定単位について】

- * 研修カリキュラムの認定単位を申請予定です。
 - ・対象者：聴講時間（1単位：90分）を満たしたもの
 - ・申請項目については、変更になる場合がありますのでご了承下さい。
- * 研修単位シールの申請には、当日の下記の情報が必要です。記録をとらせていただきます。
 - ・施設名 ・氏名 ・ログイン（受講開始時刻） ・ログアウト（終了時刻）の受講記録
- * **開始時間（12:55）**から**最後の質疑応答まで視聴**し、最後まで視聴された方のみ研修単位シールを発行します。
- * 受講時間を満たさない場合、研修単位シールの申請ができません。
- * 通信不安定により受講時間が単位申請時間に足りない場合は、単位取得できないため注意して下さい。
- * 単位認定は各自に付与されるため、1台のPCやスマートフォンなどを複数人で視聴した場合や、一緒に視聴した方に単位は付与されませんのでご注意ください。
- * 認定単位シールは、後日、施設毎に送付しますので、お受け取り下さい。

【個人情報の取り扱いについて】

- * 個人情報は、共催関係者および業務委託を除く第三者に開示・提供することはありません。個人情報は、個人情報保護方針に基づき安全かつ適切に管理いたします。

【その他 注意事項】

- * 本講演会の内容は医療関係者の方を対象に作成された専門的な内容です。医療関係者以外の聴講はご遠慮下さい。
- * アクセスURLのメール転送 並びに 当日の録画・録音・撮影などはお控えください。